



株式会社「風」は“農業生産法人”の許可を受け
また翌年には“障がい者就労継続支援A型事業所”の
認定も受け様々な雇用の場を生みだしております。
このような「風」の全体像をご紹介します。

都会に住む、農業に興味のある若者！何らかの障がいを持った方大歓迎！！

都会に住む若者、障がい者が農業をしたいのなら、今の住まいから遠く離れた地方で、というのが一般的です。

私たち「風」は、所沢という都心から1時間圏内という立地条件にあるため、電車通勤をして農業をすることが可能です。

現在私たち「風」では既に多くの障がい者が東京都を含む他の市町村から電車で通い、広大な畑の中で日々野菜作りに励んでいます。

電車通勤による規則正しい生活や、自然の中でのびのびと農作業をすることにより、入社当時よりも健康状態が見違えるほど改善されているのを皆が実感しています。

全員が「働くのは楽しい！！」と、笑顔があふれています

都会の利便性とゆったりとした田園の営みが共存しているのは私たち「風」ならではの魅力です！

～ 「いらっしゃいませ！」お客様との交流が元気の素 ～

畑から収穫してきた野菜を計量し、袋に詰める。商品を店内に彩りよく飾る。
お客様に積極的に声をかけ、買っていただく。皆が気持ちよく過ごせる為の清掃。
これが販売部門の主な仕事です。

ときには野菜の扱い方や料理法をお伝えし、旬のおいしい野菜をおすすめするなどお客様との会話を大切にしています。

自然にお客様も声をかけてくださるようになり、あたたかな人間の交流が生まれるのも販売という仕事の魅力です。

最初は大きな声が出せなかった人も、周囲につられて積極的に「こんにちは！」「いらっしゃいませ！」「ありがとうございました！」と声を出すようになると、驚くほど明るい雰囲気をもたうようになります。このように畑の仕事のほかに販売の仕事もあるなど、当社では多様な働く場を作り、提供しています。

脱・福祉だ！ がんばろう「風」

「障がい者が作った野菜だから買う」のではなく「安心だから、おいしいから買う」とお客様に言われる野菜を、改善を重ねて作り続ける。これが私たち「風」の目標です。

土作りから工夫して、野菜の種を蒔き、四季折々の野菜を収穫する喜びを味わう。自らの手で一から育てた作物には愛情がわき、我が子のように可愛いと言う社員も多いです。

農業をする上で大変な作業は草取りです。草取りは終わりの見えない雑草とのつらい闘いと、イメージしがちですが、私たち「風」ではまったく違います。

草取りは、それぞれの障がい特性に応じてマイペースででき、おまけに野菜が元気に育つという、結果が目に見えるやりがいのある仕事です。

「風」を日本一おいしい野菜のブランドにすることが皆の大きな夢。

また、将来は農産物の加工も手がけて、安心できる良質な食を提供して多くの皆様に喜んでいただきたい。その夢を目指して、若者も何らかの障害を持つ人も、そうでない人も皆「風」の仲間として共に歩んでいます。



Q&A 障がい者就労継続支援A型事業所ってなあに？

「就労継続支援事業所」とは障がい者総合支援法(平成25年4月施行)に基づく就労継続支援のための施設。一般企業への就職が困難な障がい者に就労機会を提供するとともに、生産活動を通じて、その知識と能力の向上に必要な訓練などの障がい福祉サービスを供与することを目的としています。同事業所の形態にはA、B二種類あり、「A型」は障がい者と雇用契約を結び、原則として最低賃金を保障するしくみの“雇成型”。「B型」は契約を結ばず、利用者が比較的自由に働ける“非雇成型”です。

出典:人事労務用語辞典

簡単に言うならば...

A型とは就労を希望する障がいを持った方に就労の場を提供する施設です。

一般企業に就労するには、体力面や、職業能力面に不安のある方を対象に雇用契約を結び、原則として最低賃金を保障する“雇成型”です。A型事業所の数は非常に少ないのが現状です。

B型とは就労を希望する障がいを持った方に働く喜びを経験してもらう施設です。

就労に向けて活動したが、体力面や、職業能力面が不足しており、就労に結び付かない方達が雇用ではなく、施設の利用契約を結び、給与ではなく、作業の出来高に応じて工賃を支払われる“非雇成型”です。そのため、作業の賃金はA型とは比較にならないほど低いのが一般的です...